

Hello! FUJISEI

No.248

平均寿命と健康寿命の差は男性で約9年、女性で約13年あり、この差が開くと、医療費・介護費の負担が大きくなります。個人の生活や幸せのためにも、健康寿命を延伸させるとともに、平均寿命との差を縮めることが重要とされています。

「平成26年版 厚生労働白書」は、「健康長寿社会の実現に向けて～健康・予防元年～」のサブタイトルが付けられています。

我が国の健康をめぐる施策は、戦後はコレラや結核対策など衛生水準

健康と寿命

健康で豊かな老後を迎える準備を早めに

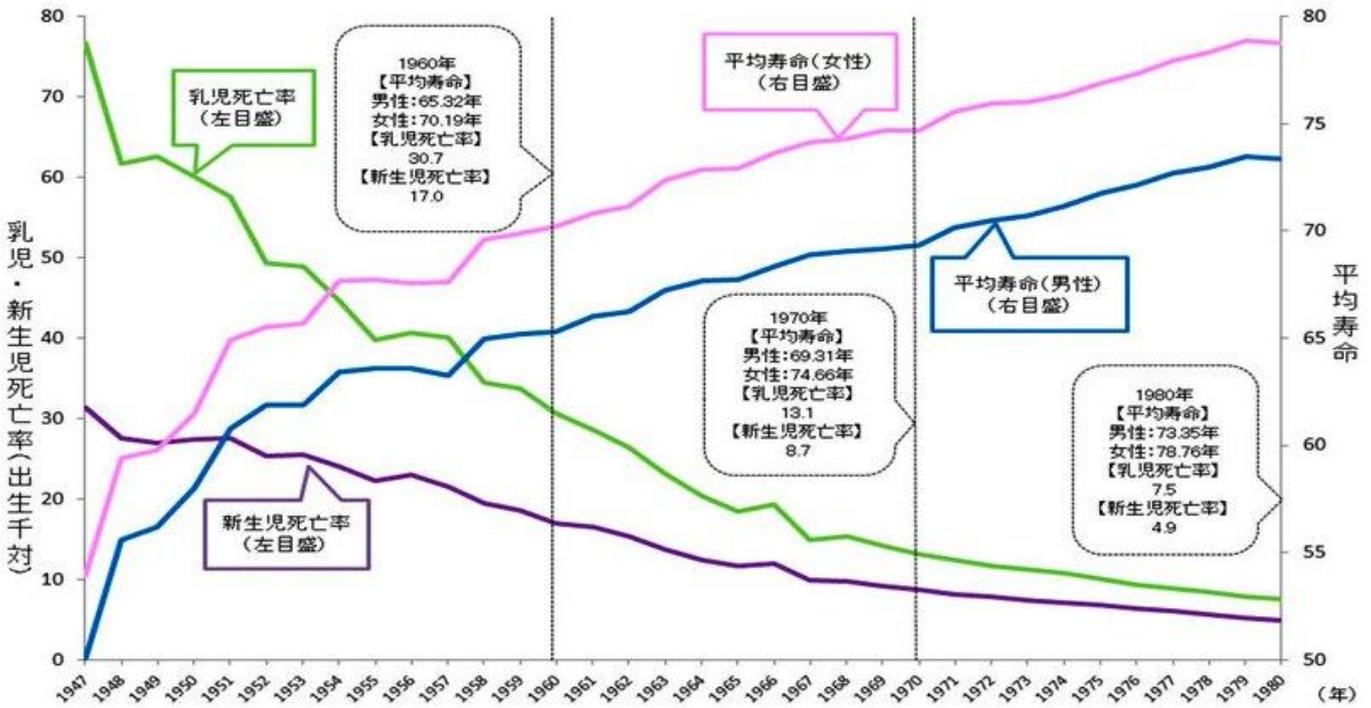
の向上が中心であり、1964（昭和39）年の東京オリンピックを契機として、積極的な健康づくりが始まります。その間、乳児死亡率が低下し、平均寿命が伸び、栄養状態や体位も改善する一方で、1950（昭和25）年頃から成人病が台頭します。その後、発症過程に着目して「成人病」から「生活習慣病」に名称が変わり、その予防に重点をおいた

国民的な健康づくり運動である「健康日本21」が2000（平成12）年から実施され、介護予防、特定健診などが新たに導入されました。現在は、「メタボリックシンドローム」が着目されています。

平均寿命と健康寿命の差（2010年）



平均寿命及び乳児・新生児死亡率の推移



平均寿命は、厚生労働省「簡易生命表」「完全生命表」、乳児死亡率は「人口動態統計」。

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル